

大友直人 歓喜の



指揮 大友直人

©堀田正規

ブラームス

注目の天才ピアニスト牛牛と
読響の初共演がアプリコで実現!

ピアノ 牛牛(ニュー ニュー)

©Chris Lee

NHK総合テレビ
アニメ「ピアノの森」で話題沸騰!

管弦楽 読売日本交響楽団

©読売日本交響楽団

ショパン ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11

ブラームス 交響曲第1番 ハ短調 作品68

2019年

6/29

[土] 15:00開演
(14:15開場)



大田区民ホール・アプリコ 大ホール [JR・東急線「蒲田駅」東口 徒歩約3分]

料金 全席指定・消費税含む

S席 4,500円 A席 3,500円 25歳以下 2,000円

オンラインチケット価格 (5%OFF) S席4,270円 A席3,320円 25歳以下1,900円

※車椅子席:3,500円(A席相当、4席のみ。介助者1名無料。窓口またはお電話にてご予約ください。)

※25歳以下:25歳以下の方が対象。来場時年齢の確認できる証明書を携帯ください。

●未就学児の入場はご遠慮願います。
●やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。

チケット発売日

2019年1月16日(水) 10:00発売開始

チケット専用電話

Tel 03-3750-1555 (10:00-20:00)

※発売初日の窓口販売は、15:00以降からとなります。

発売初日15:00以降は右記の各館でも電話予約・窓口販売いたします。

- アプリコ Tel 03-5744-1600
- 大田区民プラザ Tel 03-3750-1611
- 大田文化の森 Tel 03-3772-0700
- オンラインチケット <https://www.ota-bunka.or.jp/>
※発売日から公演前日20:00まで座席をご予約いただけます。(24時間対応)

主催



公益財団法人 大田区文化振興協会

読響との事業協定により毎年開催している【読響×アプリコ】シリーズ。今回は、円熟期を迎え、深い音楽性と端正な指揮振りで見人気が集めるマエストロ・大友直人を指揮者に迎え、ショパン&ブラームスの名曲プログラムをお届けします。ピアノ独奏は、6歳の鮮烈なデビュー以来、世界で順調にキャリアを積んできた、中国生まれのピアニスト・牛牛。最近は、アニメ「ピアノの森」(NHK総合テレビ)で中国人ピアニスト パン・ウェイの演奏を担当し、話題となっています。充実著しい読響と注目の天才ピアニストの初共演を、音響に定評のあるアプリコで聴く至福のひとつ。毎回完売の人気シリーズです。良い席はお早めに!!



©Rowland Kirishima

大友直人(指揮)

Naoto OTOMO, Conductor

桐朋学園大学を卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘各氏に師事した。桐朋学園大学在学中からNHK交響楽団の指揮研究員となり、22歳で楽団推薦により同団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演しており、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛された。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏曲op.7」を演奏。“繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏”“日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した”と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。



©Chris Lee

牛牛(ピアノ)

Niu Niu, Piano

本名、張勝量(Zhang Shengliang)。1997年中国福建省廈門(アモイ)の音楽一家に生まれる。6歳でデビューし、8歳で上海音楽院に史上最年少で入学。その後ニューイングランド音楽院等を経て、2018年5月に名門NY・ジュリアード音楽院を卒業。10歳でEMIクラシックス(現ワーナークラシックス)と専属契約を締結。2017年には新たにデッカと専属契約を結び、日本で2018年9月に新アルバム『リスト:ピアノ・ソナタ〜ヴィルトゥオーゾ&ロマンティック・ピアノ作品集』をリリース。これまでに、チェコフィル、ワルシャワ国立フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管、上海交響楽団等と共演。日本では、12歳の若さでサントリーホール(東京)、ザ・シンフォニーホール(大阪)でデビュー。翌年初のリサイタルツアーで大きな成功を収め、2011年9月、佐渡裕指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団の定期演奏会にてショスタコーヴィチ作曲「ピアノ協奏曲第1番」、ラフマニノフ作曲「パガニーニの主題による狂詩曲」を演奏し好評を博す。2018年9月にスタンドアップ!クラシックフェスティバル2018(横浜)、アニメ「ピアノの森」ピアノコンサート(奈良・春日大社)に出演。アニメ「ピアノの森」(NHK総合テレビ)で、中国人ピアニスト パン・ウェイのピアノ演奏を担当している。

<https://www.niuniumusic.com/>

読響が紡ぐ珠玉のショパン。6歳の鮮烈なデビュー以来、世界を席卷し続ける天才ピアニスト・牛牛と、

円熟期を迎えた名匠・大友直人による華麗なるタクトが、歓喜のフィナーレへと誘う。



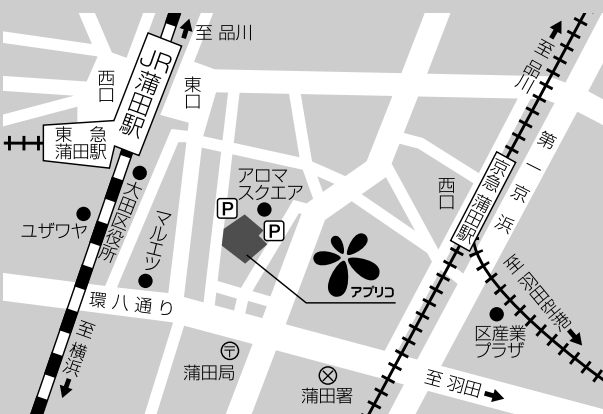
©読売日本交響楽団

読売日本交響楽団(管弦楽)

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創設以来、世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、世界の名だたるソリストと共演を重ねている。東京のサントリーホールでの《定期演奏会》を軸に充実した内容で演奏会を多数開催。2017年11月には、常任指揮者カンブルランによるメシアンの歌劇「アッシジの聖フランチェスコ」公演(全曲日本初演)が絶賛を浴び、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位に。また、サントリー音楽賞を受賞した。19年4月、第10代常任指揮者にセバスティアン・ヴァイグレが就任。小中学校や病院でも演奏などの社会貢献活動を通じ、クラシック音楽のすそ野拡大に地道な努力を続けている。《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されるほか、インターネットの「日テレオンデマンド」でも動画配信され、好評を博している。

<https://yomikyo.or.jp/>



大田区民ホール・アプリコ

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3 TEL 03-5744-1600 FAX 03-5744-1599

JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分

京浜急行「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

駐車場:区営アロマ地下駐車場 15分/100円